

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ADEKA

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 郡 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長

(氏名) 武富 順二

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	135,048	5.7	7,363	11.9	7,408	18.6	4,469	78.2
24年3月期第3四半期	127,760	△4.3	6,578	△42.8	6,248	△43.5	2,508	△59.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 4,571百万円 (134.7%) 24年3月期第3四半期 1,947百万円 (△64.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	43.28	—
24年3月期第3四半期	24.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	215,588	131,149	59.1
24年3月期	210,766	128,600	59.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 127,400百万円 24年3月期 125,249百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
25年3月期	—	11.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	5.4	10,000	19.9	10,000	15.9	5,700	50.1	55.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料、P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	103,651,442 株	24年3月期	103,651,442 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	363,258 株	24年3月期	362,884 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	103,288,368 株	24年3月期3Q	103,288,757 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から同年12月31日）における世界経済は、米国は緩やかな回復傾向が続いたものの、中国経済の成長鈍化や欧州債務問題の長期化などにより、全体的には停滞局面が続きました。国内では経済対策効果や復興需要の下支えなどはあるものの、海外景気の下振れリスクは依然として高く、引き続き厳しい状況で推移しました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野では、北米やアセアン地域での販売が好調に推移し、国内は9月まで続いたエコカー補助金制度の効果により、前年を上回る水準となりました。IT・デジタル家電分野では、スマートフォンやタブレット端末の販売は好調でしたが、薄型テレビは先進国での販売減少を受け概ね前年並みでした。製パン・製菓関連分野では、安定した需要により概ね前年並みでした。

このような状況のなか、当社グループは今年度からスタートした中期経営計画「STEP 3000」に基づき、化学品事業では米国の塩化ビニル用安定剤事業の買収やブラジル現地法人の立ち上げを行い、食品事業ではマレーシアで加工油脂を製造販売する合弁会社を設立するなど、将来の成長に向けた海外投資を戦略的に推し進めてまいりました。また、事業の選択と集中を進めるべく、電解事業を縮小し、鹿島共同出資3社から出資を引き揚げました。研究開発部門では、樹脂添加剤のグローバルテクニカルセンターの役割を担う浦和開発研究所新研究棟を完成させ、市場競争力のある製品などを迅速に研究開発できる体制を構築しました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,350億48百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は73億63百万円（同11.9%増）、経常利益は74億8百万円（同18.6%増）、四半期純利益は44億69百万円（同78.2%増）となりました。

報告セグメント別の概況は次のとおりです。

#### (化学品事業)

当事業の売上高は、912億34百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は55億63百万円（同11.1%減）となりました。

##### ①情報・電子化学品

フラットパネルディスプレイに使用される各種材料は、スマートフォンやタブレット端末向けのパネルの生産数量が伸長傾向にあったことにより、堅調に推移しました。光学フィルムやフォトレジストに使用される感光性材料、電子回路基板エッチング薬剤など競争力の高い独自製品が伸長しました。一方、半導体材料は、最先端の半導体メモリに使われる高誘電材料を中心に販売数量は高い水準で推移しましたが、価格競争の影響を受け販売価格が低下しました。

情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ増収減益となりました。

##### ②機能化学品

樹脂添加剤は、自動車生産の回復を背景に高機能製品の光安定剤や、塩化ビニル用の可塑剤、安定剤などが伸長しましたが、期後半に顧客の生産調整の影響を受け、前年同期並みとなりました。界面活性剤は、化粧品材料や塗料用添加剤が国内外で伸長しました。潤滑剤は、自動車生産の拡大および海外を中心とした新規顧客の開拓により回復しました。機能性樹脂は、自動車や家電向けに環境対応型水系樹脂が堅調でした。

機能化学品全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

##### ③基礎化学品

プロピレングリコール類などは需要が減少したことに加え、原材料価格の上昇もあり低調でした。過酸化水素およびその誘導品は、震災の影響で落ち込んだ前年同期に比べ販売数量は増加しましたが、紙パルプなどの市況低迷の影響を受け低調でした。か性ソーダなどの電解関連製品は、鹿島共同出資3社からの出資引き揚げに伴い、販売を縮小しました。

基礎化学品全体では、前年同期に比べ減収となり、わずかながら営業損失となりました。

### (食品事業)

当事業の売上高は、402億61百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は14億18百万円（同15億27百万円増）となりました。

業務用マーガリンなどの加工油脂やホイップクリームなどの加工食品は、消費者の食に対する低価格志向が強まるなか、顧客ニーズを捉えたバター風味豊かなマーガリンやフィリングを中心に販売数量が伸長し、震災の影響を大きく受けた前年同期に比べ増収増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債および純資産の状況

総資産につきましては、前期末に比べ48億22百万円増加（前期比2.3%増）し、2,155億88百万円となりました。投資有価証券の減少を上回る売上債権、たな卸資産および建物・構築物の増加が主な要因であります。

負債につきましては、前期末に比べ22億73百万円増加（同2.8%増）し、844億39百万円となりました。1年内返済予定の長期借入金の減少を上回る長期借入金の増加が主な要因であります。

純資産につきましては、前期末に比べ25億49百万円増加（同2.0%増）し、1,311億49百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月1日の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更等

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,901	23,852
受取手形及び売掛金	40,306	41,951
有価証券	7,129	8,130
商品及び製品	14,517	15,336
仕掛品	3,941	5,172
原材料及び貯蔵品	13,212	13,033
その他	6,218	6,103
貸倒引当金	△218	△223
流動資産合計	110,009	113,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,575	20,323
機械装置及び運搬具（純額）	21,718	22,388
土地	20,423	20,706
その他（純額）	7,865	7,413
有形固定資産合計	68,582	70,833
無形固定資産		
のれん	—	229
その他	3,237	3,215
無形固定資産合計	3,237	3,445
投資その他の資産		
投資有価証券	23,023	21,587
その他	5,913	6,365
投資その他の資産合計	28,937	27,952
固定資産合計	100,757	102,231
資産合計	210,766	215,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,170	34,411
短期借入金	13,060	13,887
未払法人税等	1,452	461
賞与引当金	1,924	978
その他の引当金	39	26
その他	11,172	5,390
流動負債合計	60,820	55,156
固定負債		
長期借入金	4,938	12,456
退職給付引当金	8,869	9,370
その他の引当金	124	96
その他	7,413	7,359
固定負債合計	21,345	29,283
負債合計	82,166	84,439
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,925	19,925
利益剰余金	80,225	82,511
自己株式	△224	△224
株主資本合計	122,826	125,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	984	751
土地再評価差額金	3,791	3,697
為替換算調整勘定	△2,353	△2,159
その他の包括利益累計額合計	2,422	2,288
少数株主持分	3,351	3,748
純資産合計	128,600	131,149
負債純資産合計	210,766	215,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	127,760	135,048
売上原価	100,787	106,647
売上総利益	26,972	28,400
販売費及び一般管理費	20,393	21,037
営業利益	6,578	7,363
営業外収益		
受取利息	77	80
受取配当金	252	226
持分法による投資利益	—	6
為替差益	—	107
その他	296	242
営業外収益合計	626	663
営業外費用		
支払利息	279	292
持分法による投資損失	184	—
為替差損	200	—
その他	291	326
営業外費用合計	957	619
経常利益	6,248	7,408
特別損失		
有形固定資産除却損	317	226
投資有価証券評価損	434	474
災害による損失	335	—
合弁撤退関連損失	610	—
特別損失合計	1,697	701
税金等調整前四半期純利益	4,551	6,706
法人税、住民税及び事業税	1,127	1,528
法人税等調整額	736	501
法人税等合計	1,863	2,029
少数株主損益調整前四半期純利益	2,687	4,677
少数株主利益	179	207
四半期純利益	2,508	4,469



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,687	4,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△616	△260
土地再評価差額金	578	△94
為替換算調整勘定	△657	221
持分法適用会社に対する持分相当額	△43	27
その他の包括利益合計	△739	△106
四半期包括利益	1,947	4,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,895	4,335
少数株主に係る四半期包括利益	52	235

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

 I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)  
 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	88,097	36,375	124,472	3,287	127,760	—	127,760
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	369	47	416	7,601	8,018	△8,018	—
計	88,466	36,422	124,889	10,889	135,778	△8,018	127,760
セグメント利益 (損失)	6,258	△109	6,149	375	6,525	53	6,578

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額53百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

 II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)  
 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	91,234	40,261	131,496	3,552	135,048	—	135,048
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	600	97	697	8,058	8,756	△8,756	—
計	91,835	40,358	132,194	11,610	143,804	△8,756	135,048
セグメント利益	5,563	1,418	6,982	345	7,328	34	7,363

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額34百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。